

ブラック・レイン (1989)

BLACK RAIN

メディア 映画
ジャンル アクション 犯罪
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 125分
初公開日 1989/10/07
公開情報 P a r = U I P
映倫 PG12
リバイバル 2025/01/24 [シンカ] (デジタル・リマスター版)

【解説】

レストランで偶然にヤクザの殺人に出くわしたニック（ダグラス）とチャーリー（ガルシア）両刑事は、その犯人佐藤（松田）を日本に護送するが、大阪空港で逃げられてしまう。府警の松本（高倉）の監視下、警官としての権限の無いまま捜査を見守る彼らだったが、佐藤はそれを嘲笑うかの如く、自ら刺客となって二人の前に現れるのだった。ロケ地日本の対応の悪さなどプロダクションの混乱でその腕を思う存分に振えなかったのか、意外や「ブレードランナー」の故郷を舞台にしながらスコット色の薄い作品となった。しかし、何を語るより前に、日本人にとっては、松田優作の（映画での）遺作として記憶されてしまった。ハリウッド製のフィルムの中、ビリング（クレジットの順）などあって無いが如く、彼は映画を自分のスタンスに引き寄せ、存在感を見せつけるのである。誇りを恐れず言うなら、これは彼の映画である。その雄姿に無限の可能性を再確認した者は納得するはずだ。だからこそ、その喪失感は大きい。我々は、偉大な一歩、あまりにも大きな才能を喪ってしまったのだと。グレッグ・オールマンのエンディングテーマが熱く哀しい。まるで、彼の死を予感していたかの如く。追悼のための歌の如く。

【クレジット】

| | | | |
|-------|---------------|------------------|--------------|
| 監督 | リドリー・スコット | Ridley Scott | |
| 製作 | スタンリー・R・ジャッフェ | Stanley R. Jaffe | |
| | シェリー・ランシング | Sherry Lansing | |
| 製作総指揮 | クレイグ・ボロティン | Craig Bolotin | |
| | ジュリー・カーカム | Julie Kirkham | |
| 脚本 | クレイグ・ボロティン | Craig Bolotin | |
| | ウォーレン・ルイス | Warren Lewis | |
| 撮影 | ヤン・デ・ボン | Jan de Bont | |
| 音楽 | ハンス・ジマー | Hans Zimmer | |
| 出演 | マイケル・ダグラス | Michael Douglas | ニック・コンクリン |
| | 高倉健 | | 松本正博 |
| | アンディ・ガルシア | Andy Garcia | チャーリー・ヴィンセント |
| | 松田優作 | | 佐藤浩史 |
| | ケイト・キャプショー | Kate Capshaw | ジョイス |
| | 若山富三郎 | | 菅井 |
| | 内田裕也 | | 梨田 |
| | 國村隼 | | 吉本 |

| | | |
|-----------------|--------------------|-------|
| 安岡力也 | | 菅井の子分 |
| 神山繁 | | 大橋 |
| 小野みゆき | | みゆき |
| 島木譲二 | | 菅井の子分 |
| ガッツ石松 | Guts Ishimatsu | 片山 |
| ジョン・スペンサー | John Spencer | オリヴァー |
| ルイス・ガスマン | Luis Guzman | フランキー |
| ジョン・コステロー | John Costelloe | |
| スティーヴン・ルート | Stephen Root | |
| リチャード・リール | Richard Riehle | |
| ティム・ケルハー | Tim Kelleher | |
| ジョージ・カイル | George Kyle | |
| ヴォンディ・カーティス＝ホール | Vondie Curtis-Hall | |
| ジョー・パーズ | Joe Perce | |